



RUNNERS (ランナーズ) 9の会

「100歳まで走る」

平和を訴えるランナーたち

バンクーバーマラソン優勝

市民マラソンとして有名なものに、カナダのバンクーバー国際マラソンがあります。2011年、このマラソンには1万5000人もの人が参加しました。60〜64歳の部門で優勝したのが春日部市在住の橋本静修さんです。走っている彼のユニホームの胸には「ランナーズ9の会」の文字が書かれていました。

なぜ走ることを選んだのか

橋本さんは、中学校の英語教員でした。42歳のときに体調を崩して病

院で検査を受けたところ、胃潰瘍になりかけていると診断されました。その原因がストレスであることは自分でもわかったといいます。父親が

60代で胃がんのため亡くなっていることもあり、このままではまずいと思い、健康のために運動をはじめようと決心します。ですが、運動は苦手で、走ることぐらいしかできない。それなら走ろうと考えたのが、マラソンに挑戦したきっかけです。

最初は2、300メートルの距離を走っただけで、ぜいぜいと息があがったといいます。が、「もう少し速く」「もう少し長く」と楽しくつけているうちに、実力もついてきました。

不登校の子どもたちや地域の子どもたちと、夜いっしょに走ったこともあり、そのことによって立ち直った子どももいたそうです。

春日部市内の10キロマラソンが、はじめて参加した大会です。その後、44歳のときにはじめてフルマラソンに挑戦して、3時間59分あまりで完走。その3年後、モンゴルで初の海外レースを体験し、大草原を走りたいという希望をかなえることができました。韓国やカナダ、アメリカなどにも足をのびました。走りはじめた頃は出場資格に及ばなかったボストンマラソンにも、2000年に出場、完走するという夢を実現させました。



2012年ボストンマラソン